

その他の林業における木材、竹材を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	12～13	竹林より竹を出している時に竹の切株を見落とし、竹と竹の切株で指をはさんだ。	23	—
1	14～15	製材所へ運搬する丸太の積み込みを終えた運転手が、本数を検知していたとき、フォークリフトを使用して椴積作業中の技能班員が長さ4m・径約26cmの丸太を積載して走行中、すでに椴積されていた高さ4mの椴山の最上部に誤って衝突し、運転手の首後部にもものが落ちてきて負傷した。	42	1～9
2	15～16	現場において竹の伐採作業中、8m離れた所で枯れた竹を伐採する者がおり、その伐採した竹が倒れた際、被災者のヘルメットをかぶった頭に避ける間もなく倒れ落ち負傷した。	62	—
6	10～11	公園にて立木伐採作業中、対象立木を切った後、地面に降ろして枝を切り落とす作業に入り、1本枝を切ったところ、突然バランスが崩れて木幹を中心に立木が回転し、他の枝が作業員の背後からもたれ掛かって来て、作業員が転倒し右肘を強打した。	48	1～9
7	15～16	作業場にて出荷の荷作り作業中、丸太に巻きダンボールを括りつけていたとき、丸太を載せる台と丸太の間で左手の中指を挟んだ。	63	1～9
9	9～10	山林で、伐木造材作業中、重なって伐倒してあった木の上側の木を造材した時に、玉切った木が自分の方へ落ち、左足に当たり負傷した。	47	10～29
		地拵え作業中、玉切った材を木の棒を使い、もくっていたところ、その棒が折れて		10

11	10～ 11	体が前につんのめった状態になり、踏み出した右足が木と木の間に挟まった。その日は、作業を続けたが、痛みが増したので受診したところ、右膝内側副靭帯損傷と診断された。	62 ～ 29
----	-----------	--	---------------

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html